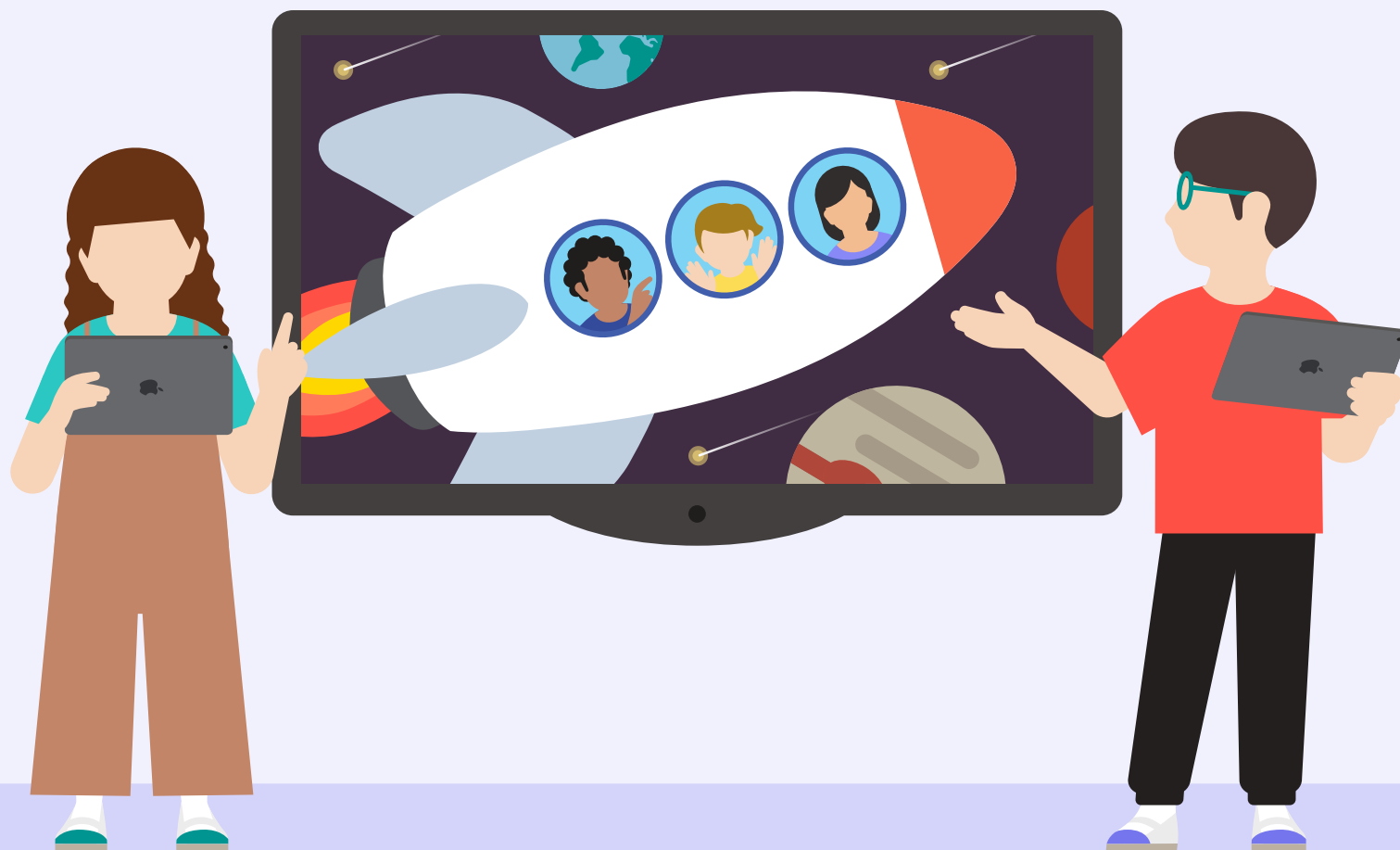


iPad授業ガイド



小学校6年 英語



はじめに

このガイドについて

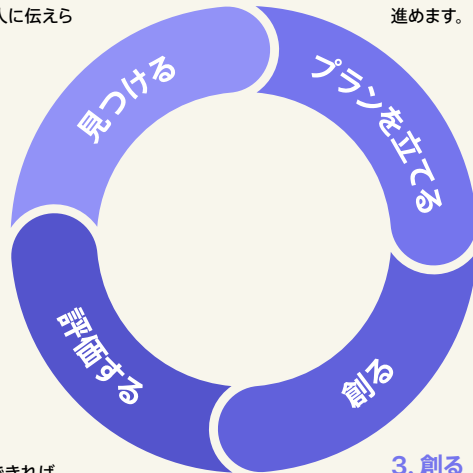
このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける

体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる

収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



4. 評価する

自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

3. 創る

スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。[文部科学省作成の情報活用能力の体系表\(16ページ以降\)](#)は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。小学校高学年向けのガイドでは、ステップ2や3に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランス良く伸ばしているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

[ルーブリックをダウンロードする](#) (ダウンロードアイコン)

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

単元

Favorite Place

自分のお気に入りの場所を紹介する活動を通して、相手に伝わりやすい英語での表現を学びます。iPadなら、自分のお気に入りの場所を写真やイラスト、音声などのクリエイティブな表現方法で魅力的に伝えることができます。

Dream and Future

iPadを使えば、ビジュアル要素を生かしたマインドマップや、音声を効果的に盛り込んだポッドキャストを作成することができます。生徒たちのデザインインカや演出力、わかりやすくまとめる力を育成することができます。

Story Time

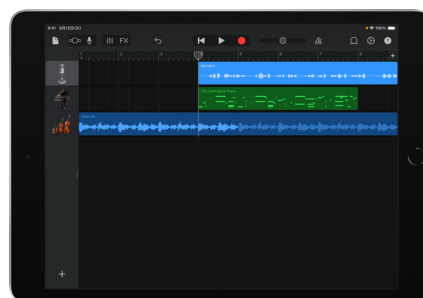
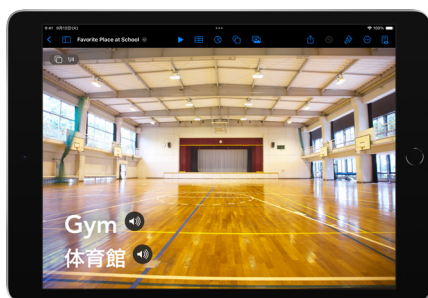
iPadを使って、30年後の未来のストーリーを組み立て、写真や音声も入れながらデジタル紙芝居を作ります。アイデアを自由に形にする活動を通して、伝えたいことを英語で表現しようとする意欲が育まれます。

活動内容

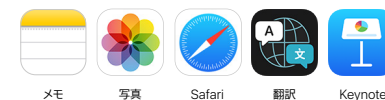
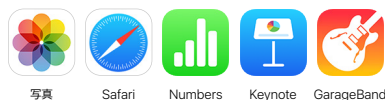
- ①自分のお気に入りの場所を見つけよう
- ②絵辞典を作る準備をしよう
- ③Keynoteで絵辞典を作ろう
- ④いろいろな人に絵辞典を見てもらおう

- ①マインドマップを使って整理しよう
- ②ポッドキャストの構成を考えよう
- ③みんなの夢のポッドキャストを作ろう
- ④相手に伝わる話し方について話し合おう

- ①30年後の世界を想像しよう
- ②ストーリーの構成を考えよう
- ③デジタル紙芝居を作ろう
- ④楽しみながら感想を伝え合おう



使用するアプリ



Favorite Place

自分のお気に入りの場所を紹介する活動を通して、相手に伝わりやすい英語での表現を学びます。
iPadなら、自分のお気に入りの場所を写真やイラスト、音声などのクリエイティブな表現方法で魅力的に伝えることができます。

1	見つける	第1~2時 まちや学校施設のお気に入りの場所を見つける	活動アイデア 1 5ページ 自分のお気に入りの場所を見つけよう
2			
3	プランを立てる	第3~4時 絵辞典の構成を考え、集めた素材の英語表現を調べる	活動アイデア 2 5ページ 絵辞典を作る準備をしよう
4			
5	創る	第5~6時 絵辞典に単語を録音する	活動アイデア 3 6ページ Keynoteで絵辞典を作ろう
6			

7	評価する	第7~8時 ほかの生徒の絵辞典を比較し評価する	活動アイデア 4 6ページ いろいろな人に絵辞典を見てもらおう
8			

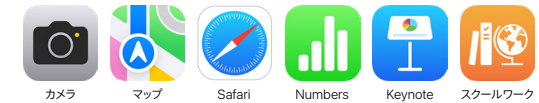
学習目標

自分たちのまちや学校の中の良いところやお気に入りの場所について、簡単な語句や基本的な表現を使って発表できるようになる。

身につく力

まちや学校を紹介する活動を通じて、様々な表現手段を組み合わせて効果的に発信、伝達できる力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

Favorite Place

見つける 活動アイデア1 自分の気に入りの場所を見つけよう

- ① 自分のまちの良いところや学校内の好きな場所はどこかを考えます。実際に訪れたり、Safariやマップアプリを使って検索したりして、気に入りの場所を探してみます。ペアになり、自分が良いと思った場所について、“I like a big park. You can enjoy a boat ride. It's fun.”など、選んだ理由も含めて英語で伝え合います。
- ② ①で選んだ気に入りの場所の写真を撮影したり、Safariを使って検索したり、パンフレットなどの資料があれば集めたりしながら、絵辞典用の素材を準備します。

💡 iPad活用のヒント

カメラアプリはロックされているホーム画面からもアクセスすることができます。ロック画面で左にスワイプすると、カメラアプリが起動します。

活用できるアプリ



カメラ マップ Safari

情報活用能力

インターネット上の情報の閲覧・検索(ステップ2)
調査や資料等による基本的な情報の収集の方法(ステップ2)

プランを立てる 活動アイデア2 絵辞典を作る準備をしよう

- ① 活動アイデア1で集めた写真をKeynoteのスライドに貼ります。
- ② 写真に撮った場所を英語でどのように表現するかをSafariで調べ、Numbersを使ってまとめます。読み方がわからない単語は教師やALTに聞きます。教えてもらった発音を真似て自分で声に出し、練習します。そのほか、日本語と英語が併記された地域の案内標識や、観光客用の観光マップの日本語版と英語版を書き写すなど、身近なところにある英語を学ぶための素材を活用して調べてみます。



活用できるアプリ



Safari Numbers Keynote

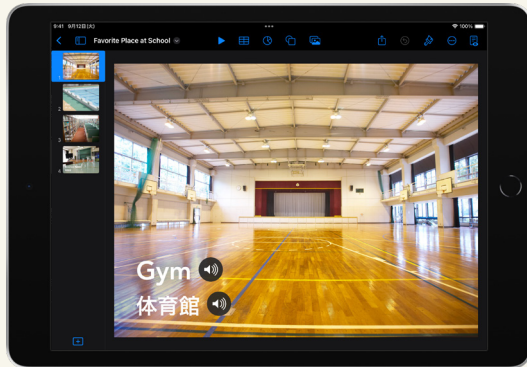
情報活用能力

考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係(ステップ2)
自他の情報を組み合わせて表現する方法(ステップ2)

Favorite Place

創る 活動アイデア 3 Keynoteで絵辞典を作ろう

- ① 生徒1人につき1つずつ単語を選びます。活動アイデア2で写真を配置したKeynoteのスライドの中から関連する写真などを選び出し、新しいスライドに貼り付けます。さらに、Keynoteを使って日英それぞれの単語の読みを録音します。
- ② スクールワークアプリを通してKeynoteをクラス全体で**共同作業**にし、クラス全員が1ページずつ持ち寄ったスライドを合わせ、1つの絵辞典にまとめます。画像から調べる絵辞典として使うには**ライトテーブル**で、単語から検索できるようにするには**アウトライン**で表示します。



活用できるアプリ



Keynote スクールワーク

小学校6年 | 英語

情報活用能力

情報と情報との関係付けの仕方(ステップ3)
情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見いだそうとする(ステップ3)

さらに学びを深める 絵辞典をブラッシュアップしよう

- 活動アイデア3で作成したKeynoteに**アニメーション**をつけてみましょう。
- 絵辞典の写真を**イラスト***1にしてみましょう。絵辞典に配置した写真の不透明度を下げて、Apple Pencilなどを使って輪郭線をトレースし、ハイライトや陰影を意識しながら色をつけます。
- 作成した絵辞典を同じ学校の小学3年生のクラスにプレゼントしましょう。フィードバックをもらったり、良かった点を教えてもらったりすると、作った生徒の自信を育むことにつながります。
- グループごとに紹介したい場所を1つ決めて、絵辞典を作ってみましょう。最初のページに地図などを配置し、各単語のページへの**リンク**を追加すれば、最初のページからそれぞれのページにアクセスできるようになります。

*1) Everyone Can Create : スケッチ「静物画」 50ページ

評価する 活動アイデア 4 いろいろな人に絵辞典を見てもらおう

自分たちが作った絵辞典をALTなどに見せてコメントをもらいます。コメントをもとに、文字を追加したり、英語を録音し直したり、配置を検討したりして、はじめて見た人にもわかりやすい絵辞典となるよう、さらに工夫します。絵辞典のページをアルファベット順に並べ替えば、どのアルファベットから始まる単語が不足しているかがわかるので、さらに絵辞典に追加することもできます。また、ほかの生徒が作成したページの良いところや工夫しているところなどを見つけることで、自分のページの改善点に気づくことができます。

Dream and Future

iPadを使えば、ビジュアル要素を生かしたマインドマップや、音声を効果的に盛り込んだポッドキャストを作成することができます。生徒たちのデザイン力や演出力、わかりやすくまとめる力を育成することができます。

1	見つける	第1~2時 興味のある職業ややりたいことについて調べる	活動アイデア 1 8ページ マインドマップを使って整理しよう	7	評価する	第7~8時 クラスメートと「将来の夢紹介」を共有し、振り返る	活動アイデア 4 9ページ 相手に伝わる話し方について話し合おう
2				8			
3	プランを立てる	第3~4時 「将来の夢」を紹介する際の構成を考える	活動アイデア 2 8ページ ポッドキャストの構成を考えよう				
4							
5	創る	第5~6時 「将来の夢」について説明する	活動アイデア 3 9ページ みんなの夢のポッドキャストを作ろう				
6							

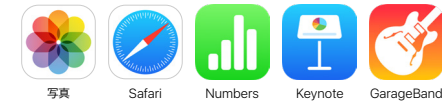
学習目標

自分が将来やりたいことややりたい職業について考え、簡単な語句や基本的な表現を使って、自分の夢を発表できるようになる。

身につく力

将来やりたい職業などについてたずね、伝える力。情報を整理し、表現する力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) ↓

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする ↓

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

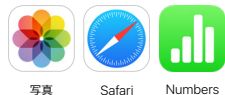
Dream and Future

見つける 活動アイデア1 マインドマップを使って整理しよう

- ① 自分が興味のある職業や将来やりたいことを考え、それらについての情報や関連する写真、イラストなどをSafariを使って集めます。
- ② Numbersの描画を使ってマインドマップを描きます。①で集めた写真やイラストの中から最もなりたいたい職業ややりたいことを選び、マインドマップの中央に配置します。
- ③ マインドマップの中央に配置された職業ややりたいことから想起する事柄について日本語や英語、イメージを付け足していきながら、マインドマップを完成させます。必要に応じて、教科書や図書室の本、Safariなどを使って調べた情報を追加します。また、ペアになり、片方の生徒が“Who's this?”と問いかけ、それに対してもう1人の生徒が英語を調べ、“Pilot.”のように答えるといった形で会話をしながら取り入れてマインドマップを完成させる形式にしてもよいでしょう。



活用できるアプリ



小学校6年 | 英語

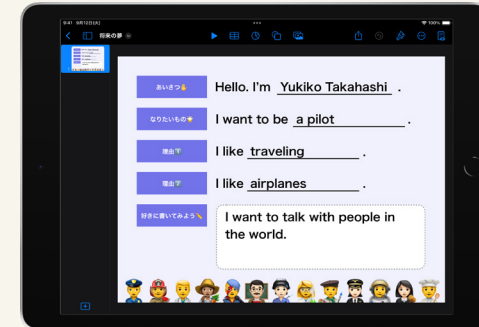
情報活用能力

インターネット上の情報の閲覧・検索(ステップ2)
考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係(ステップ2)

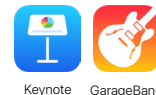
プランを立てる 活動アイデア2 ポッドキャストの構成を考えよう

- ① 「将来の夢」のワークシートを使って、自分の将来なりたいたいものとその理由をワークシートにまとめます。
- ② 活動アイデア1で作成したマインドマップから、自分の「将来の夢紹介」のポッドキャストにどのようなリズムが合うか考えます。GarageBandのApple Loopsでループを組み合わせ、好きなリズムを作ります。Sound Libraryには様々な音源が収録されているので、生徒のクリエイティビティを引き出すのに役立ちます。
- ③ リズムが完成したら、音に合わせて「将来の夢紹介」を発表する練習をします。リズムを意識しながら、声色や発音の強弱に変化をつけ、ポッドキャストがより魅力的に聞こえるように工夫をします。

「将来の夢」のワークシートをダウンロードする



活用できるアプリ



Keynote GarageBand

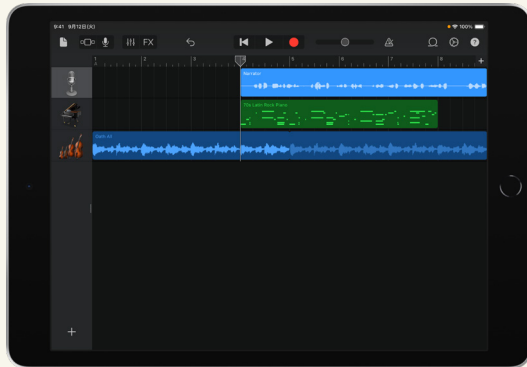
情報活用能力

自他の情報を組み合わせて表現する方法(ステップ2)
キーボードなどによる文字の正確な入力(ステップ3)
複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法(ステップ3)
複数の表現手段を組み合わせて表現する方法(ステップ3)

Dream and Future

創る 活動アイデア 3 みんなの夢のポッドキャストを作ろう

- ① GarageBandのリズムに合わせて、自分の音声をiPadを使って録音します。
- ② 各自で作成した「将来の夢紹介」の音声をつなぎ合わせます。音声の並び順や、つながり方、ポッドキャストのオープニングテーマやエンディングテーマなど、全体の構成をクラスで話し合います。
- ③ 構成が決まったら、役割を分担してポッドキャストを完成させます。



活用できるアプリ



GarageBand

小学校6年 | 英語

情報活用能力

目的に応じたアプリケーションの選択と操作(ステップ3)
複数の表現手段を組み合わせて表現する方法(ステップ3)
問題を焦点化し、ゴールを明確にし、シミュレーションや試作等を行いながら問題解決のための情報活用の計画を立て、調整しながら実行する(ステップ3)

さらに学びを深める より伝わる表現を考えよう

- 自分のなりたい職業に就いている家族や身近な人、あこがれの人についても紹介してみましょう。
- 活動アイデア1で集めた写真やイラストなどを紹介するビデオをiMovieのマジックムービーを使って作ってみましょう。

評価する 活動アイデア 4 相手に伝わる話し方について話し合おう

完成したポッドキャストを聞き、話し合います。「気持ちを込めて話すには?」「自分のことをしっかり伝えるには?」などの点について話し合います。特に、リズムに合わせてうまくまとめている生徒たちが、読み上げる際にどんな工夫をしているのかに注目するとよいでしょう。自分の音声の改善すべき点が見つかったら、[テイク2](#)を録音してみることもできます。

Story Time

iPadを使って、30年後の未来のストーリーを組み立て、写真や音声も入れながらデジタル紙芝居を作ります。アイデアを自由に形にする活動を通して、伝えたいことを英語で表現しようとする意欲が育まれます。

1	見つける	第1~2時 未来の生活について想像する	活動アイデア 1 11ページ 30年後の世界を想像しよう
2			
3	プランを立てる	第3~4時 未来予想図のストーリーを組み立てる	活動アイデア 2 11ページ ストーリーの構成を考えよう
4			
5	創る	第5~6時 未来予想図をデジタル紙芝居にして説明する	活動アイデア 3 12ページ デジタル紙芝居を作ろう
6			

7	評価する	第7~8時 クラスメートと紙芝居を共有し、簡単な英語で意見を伝え合う	活動アイデア 4 12ページ 楽しみながら感想を伝え合おう
8			

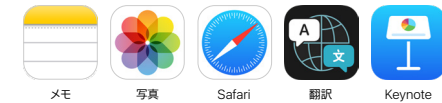
学習目標

30年後の未来の生活について、簡単な語句や基本的な表現を使って説明できるようになる。

身につく力

未来の生活を想像するクリエイティブな力や、情報を整理してストーリーを組み立てる力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

Story Time

① 30年後の世界を想像しよう

- ① 30年後にタイムスリップしたと想定して、その世界についていろいろ想像を膨らませてみます。その世界にありそうなものについてやり取りします。例えば“*We can go anywhere in the world quickly. We have 'flying cars'!*”のように、英語でも伝え合います。
- ② Safariで検索しながら、想像上の30年後の世界に合った写真を選んだり、メモアプリなどでイラストを作成したりします。

💡 iPad活用のヒント

メモにスケッチを描き加えてみましょう。画面右上の📎をタップして、指またはApple Pencilでスケッチを描いてください。描画の一部をやり直したい場合は、消しゴムツールに切り替えます。間違えて消してしまった場合は、⏪をタップすると、1つ前の状態に戻すことができます。

活用できるアプリ



メモ 写真 Safari

情報活用能力

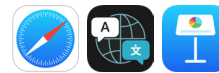
インターネット上の情報の閲覧・検索(ステップ2)
目的に応じたアプリケーションの選択と操作(ステップ3)
社会におけるコンピュータの活用(ステップ3)

② ストーリーの構成を考えよう

- ① 活動アイデア1で考えた30年後の世界について、聞き手の興味を念頭に置きながらグループで協力してストーリーを考えます。
- ② ストーリーの構成やセリフをKeynoteに日本語でまとめます。Safariや翻訳アプリを使いながら、ストーリーやセリフを英語でどのように表現するか調べます。翻訳アプリは、日本語で発した言葉を英語に翻訳して発音する機能や、英語から英語の設定にすることで英文を読み上げる機能などがあるため、話す練習に活用することができます。また、ペアになり、片方の生徒が“*What's '空飛ぶ車' in English?*”と問いかけ、もう1人の生徒が“*I got it. It's a 'flying car'!*”のように答えるといった形で、会話をしながらKeynoteにまとめる形式にしてもよいでしょう。



活用できるアプリ



Safari 翻訳 Keynote

情報活用能力

考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係(ステップ2)
目的を意識して情報活用の見通しを立てる手順(ステップ2)
情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を論理的に考える(ステップ3)

Story Time

創る 活動アイデア 3 デジタル紙芝居を作ろう

- ① Keynoteのアニメーションを使って活動アイデア2でまとめたKeynoteのスライドに動きをつけ、デジタル紙芝居を作ります。iPadで撮影した生徒の写真の背景をインスタントアルファで削除し、ミー文字なども活用すれば、30年後の世界に自分自身を登場させたり、未来の世界にありそうな複数のイメージを同時に1つのシーンにまとめて表現することもできます。
- ② セリフを録音します。より伝わりやすくなるように声色や強弱にも注意してセリフを読みます。クイックメモを使ったり、Split Viewでメモアプリを表示したりしておく、セリフを見ながら録音できるので便利です。
- ③ ムービーに書き出し、デジタル紙芝居として完成させます。



活用できるアプリ



Keynote

情報活用能力

映像編集アプリケーションの操作(ステップ2)
相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法(ステップ2)
キーボードなどによる文字の正確な入力(ステップ3)
複数の表現手段を組み合わせる方法(ステップ3)

さらに学びを深める デジタル紙芝居をより魅力的なものにしよう

- GarageBandで自分らしさを表現したオープニングテーマ、エンディングテーマを作成し、追加してみましょう。
- より効果的に物語を伝えるため、Keynoteのトランジションを使って、スライドのつながりが良くなるよう工夫してみましょう。
- Keynoteで作成したムービーをiMovieに取り込んで、サウンドトラックや効果音を追加してみましょう。

評価する 活動アイデア 4 楽しみながら感想を伝え合おう

ほかの生徒の英語の読み上げ方に注目しながら、完成したデジタル紙芝居を見てみます。ナレーション(声色や間の取り方)や演出の工夫点を見つけて、表現することの面白さを味わいましょう。紙芝居を見ながら、これまでに学習した英語を使ってリアクションをしてもよいでしょう。驚いた時には“Wow!”、良かった時には“Great!”や“Good!”など、単語やフレーズの例を用意しておく楽しみながら感想を伝え合うことができ、意見をしっかりと話す練習にもなります。

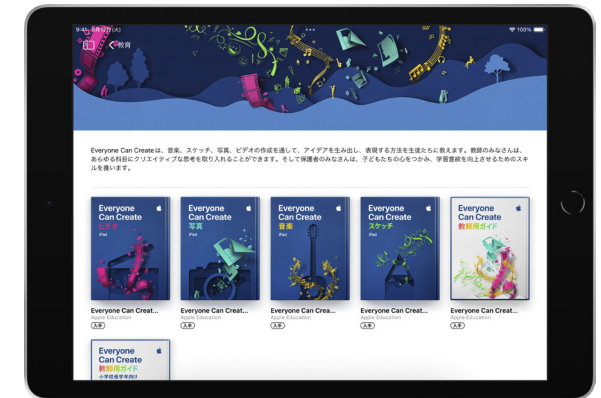
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

[さらに詳しく >](#)



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

[さらに詳しく >](#)

